

医学物理士臨床研修インテンシブコースを終えて

長岡赤十字病院 西潟貴幸

2017年4月から9月までの半年間、新潟大学医歯学総合病院にて医学物理士臨床研修インテンシブコースを受講させていただきました。カリキュラムは強度変調放射線治療についての講義、治療計画、**patient QA**でしたが、私は**VMAT**治療計画に重点をおいた研修を週に1日受けさせていただきました。症例として前立腺がん、膠芽腫、上顎洞がん、上咽頭がん、全骨盤に対する**VMAT**の治療計画を経験しました。私のように一度社会に出てから医学物理士資格を取得した者にとって医学物理士教育を受け直すことはハードルが高く、以前より社会人を対象とした中長期的な実習形式の研修があったら良いなと思っておりました。そんな中、地元新潟で強度変調放射線治療に焦点を当て、十分な時間と充実した実習を受けられるという本研修はまさに待望していたものでした。研修は放射線治療計画室の計画装置一台を一日中占拠させていただき、経験豊富な医学物理士の先生方の熱気に満ちたご指導を受けられるという贅沢なものでした。治療計画を行っていくうえで参考となる論文や資料を提示していただき、輪郭描出、ビームアレンジメント、最適化、作成した治療計画の評価方法について実習しました。特に**VMAT**治療計画を作成するのに欠かせない疑似輪郭の作成、最適化の手法について先生方がこれまで培われてきたテクニックを十分に教授していただきました。研修が進むにつれて自分でも上達が感じられるようになり、終盤では複雑な治療計画に対しても少しばかり自信を持つことができるようになりました。

また、研修日の朝と夕方には症例検討会に参加させていただきました。大学病院ということで、様々な症例に対する治療が行われておりました。それぞれの症例に対するアプローチの仕方や、治療計画の考え方を拝聴することができ、自施設の治療計画業務、治療計画確認業務においても有用な知見を得ることができました。

研修以外では新潟大学医学物理グループのバーベキューパーティーに参加させていただきました。雄大な信濃川の水辺で美味しいお肉とお酒を飲みながら、普段は真剣な面持ちで業務を遂行されている先生方と砕けたお話ができたこともよい思い出です。

上述したように半年間にわたる研修は大変有意義なものでした。加えて放射線治療、医学物理関係の方々との繋がりをより密にできたことも今回の研修の大きな収穫となりました。覚えの悪い私でしたが医学物理士の先生方にはこれで懲りずに今後ともご指導いただければと思っております。

最後になりましたがお忙しい中熱心に指導していただいた医学物理士の宇都宮悟先生、棚邊哲史先生、研修の場を与えていただいた放射線治療科青山英史教授をはじめスタッフの皆様、研修の機会を与えていただいた新潟大学大学院保健学研究科の和田真一教授、早く研修に送り出していただいた長岡赤十字病院放射線科スタッフの皆様に深く感謝申し上げます。